



## これからの社会について考えること

山田由美子税理士事務所 代表 山田由美子



OMA

女性経営者シリーズ

私の一日は連続テレビ小説を見ることから始まります。通勤前のあわただしい時間なのですが毎日かかさず観ています。4月2日までは「あさが来た」を放送していました。ヒロインのあさのモデルは明治を代表する女性実業家、広岡浅子氏でした。「女に教育は不要」という商家に生まれ読書・勉強を禁じられていたのですが、嫁いだ加島屋に何かあってからでは遅いと簿記・算術を独学し、明治維新の動乱を迎え夫の弟と夫とともに加島屋の立て直しに奔走しました。炭鉱事業に参画、加島銀行を設立。大病をした後大同生命を創業しました。事業に成功した後、幼い頃に学問を禁じられた体験を持つ浅子氏が、女子教育に力を入れている成瀬人蔵氏と出会い日本女子大学校設立に尽力しました。明治時代にこんなに素敵な女性がいたなんて信じられない思いでした。

浅子氏は結婚してから勉強を始め、いろいろな事業を興し成功させています。ドラマでは子供を産んでからもバリバリと仕事をしていました。その当時は祖母等家族のほか女中さんや番頭さんなど使用人がたくさんいて浅子氏をささえていたのが大きいと感じました。現在では核家族化が進み子育てをする環境が整っていません。保育所に子供を預けるのがとても難しい状況になっています。保育所に子供を預けられなかったママが書い

たブログ「日本死ね」は国会でもとりあげられました。でもそのあとでも保育所を新しく建設しようにも子供の遊び声がうるさいという住民の反対でできなかったというニュースが流れました。大阪弁護士会館では弁護士が研修を受けている間子供を預かってくれる託児所が併設されています。子供がいても働けるような具体的な仕組みづくりがもっといろいろなところで広がってほしいと思います。いろいろな理由で仕事がしたいのにできない人達が増えています。高齢社会になったいま介護のために仕事を辞めていく人達がいまいます。さらに介護が終わったあと職場復帰ができない状況があります。介護を家族だけでなく社会全体がサポートできる仕組みづくりがもっともっと必要です。私が所属している f.w.n 交流会は女性を支援するためのさまざまなセミナーやイベントを実施しています。もっといろいろなかたちで支援やボランティアに取り組んでいけたらと考えています。

### プロフィール

平成7年2月 税理士登録

平成12年10月 CFP登録

日本成年後見法学会 会員

大阪家庭裁判所 参与員